

[教育委員会 学校教育課 所管]

○通園通学バス運行業務に要する経費（10010204） 26,878,128 円（24,327,636 円）

決算書 P284

〈その他：1,560,000 円 一財：25,318,128 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・負担金：通学バス保護者負担金 1,204,000 円
- ・負担金：通園バス保護者負担金 356,000 円

（目的）

統廃合により遠距離通園通学となった園児・児童を対象に送迎バスを運行し園児・児童の利便性を確保する。

（内容）

- ・猿島幼稚園児を対象に通園バスを運行し、利用者には保護者負担金片道 1,000 円/月、往復 2,000 円/月とする。（小学校児童にバス利用者が居る世帯は無料）
- ・飯島小、中川小、逆井山小学校の遠距離通学の児童を対象に通学バスを運行し、利用者には保護者負担金一世帯片道 1,000 円/月、往復 2,000 円/月とする。

（効果）

送迎バスを運行することにより、園児送迎の保護者負担と児童の遠距離通学による身体的負担の軽減と安全の確保を図ることができた。

○学校安全巡回業務に要する経費（10010206） 11,181,872 円（11,544,538 円） 決算書 P284

〈一財：11,181,872 円〉

（目的）

園児・児童・生徒の安全を確保するため、火災、盗難、不審者などによる不法行為等による事故を予防するとともに教育施設の安全性の向上に努める。

（内容）

学校安全巡回業務委託料 11,181,872 円

- ・業務はシルバー人材センターへ委託。
- ・幼稚園単独で1園、小学校単独で13校、中学校で4校の計18ヵ所において、日常巡回スケジュール表を作成し固定及び巡回を実施。

※出入管理 ・外来者の受付

・校内での児童生徒のトラブルを発見した際の学校への通報

※巡回

・園舎、校舎内外の巡回及び幼稚園、学校周辺の巡回

（効果）

園児・児童・生徒の安全を確保し不法行為等による事故を予防し、教育施設の安全性の向上を図ることができた。

○小学校管理運営に要する経費（10020102） 127,419,376 円（130,627,326 円） 決算書 P292

〈その他：1,302,226 円 一財：126,117,150 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・負担金：日本スポーツ振興センター保護者負担金 1,238,780 円
- ・諸収入：小学校体育館大規模改造工事電気使用料 47,265 円
- ・諸収入：小学校体育館大規模改造工事水道使用料 16,181 円

（目的）

学校教育の効率的な運営を推進するために、各学校への経費を計上し児童の安心した教育環境の整備充実を図るとともに、情緒障害等のある児童の学校生活の支援をする。

(内容)

- ・校医、歯科医、薬剤師、用務員、介助補助講師への報酬等 46,993,706 円
- ・各学校の需用費及び通信費等 46,731,931 円
- ・複写機リース代等 3,677,658 円
- ・教材備品の購入 5,538,680 円
- ・日本スポーツ振興センター負担金 2,719,785 円
- ・学校管理を目的として各学校へ配当した学校管理費 21,757,616 円

(小学校学校管理費 決算額)

(単位：円)

予算科目	金 額	予算科目	金 額
08 報償費	6,000	12 役務費	817,270
11 需用費	16,520,187	01 通信運搬費	143,920
01 消耗品費	10,278,942	03 手数料	673,350
02 燃料費	4,175,865	13 委託料	2,156,160
03 食糧費	203,120	14 使用料及び賃借料	2,028,047
04 印刷製本費	507,368	16 原材料費	229,952
06 修繕料	1,354,892	合 計	21,757,616

(効果)

学校教育の効率的な運営を推進し、教育環境の整備の充実や、情緒障害等のある児童の学校生活への支援を図ることができた。

○小学校教育振興に要する経費（10020201） 6,035,129 円（6,381,428 円） 決算書 P294

〈国・県：420,000 円 一財：5,615,129 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・国補：理科教育振興費補助金 420,000 円

(目的)

創意を生かした特色ある学校づくりを通して、児童の学力向上と健全な心身の育成を目指す。

(内容)

- ・理科教材備品、国語用、温室用消耗品費 1,625,030 円
- ・教育用パソコン使用料 140,400 円
- ・教育振興を目的として各学校へ配当した教育振興費 4,269,699 円

(小学校教育振興費 決算額)

(単位：円)

予算科目	金 額	予算科目	金 額
08 報償費	187,359	14 使用料及び賃借料	0
11 需用費	3,674,220	18 備品購入費	403,120
01 消耗品費	3,269,762	19 負担金補助及び交付金	5,000
06 修繕料	404,458	合 計	4,269,699

(効果)

児童の学力向上と健全な心身の育成を目指し、教育振興のための教材の充実により特色ある学校づくりを推進することができた。

○要保護・準要保護児童就学援助事業に要する経費（10020202） 11,316,889 円（11,387,803 円）

決算書 P296

〈国・県：123,300 円 一財：11,193,589 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・国補：要保護児童就学援助費補助金 63,000 円
- ・県補：被災児童生徒就学支援等事業補助金 60,300 円

(目的)

経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

(内容)

対象者 214 名（内被災者 1 名）

- ・要保護は、修学旅行費の支給及び疾病についての医療費を援助する。
- ・準要保護は、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童学用品費等、修学旅行費、学校給食費及び疾病についての医療費を援助する。

(効果)

保護者に対して必要な援助を行うことにより、経済的な理由によって就学困難な児童及び被災地からの児童への支援を図ることができた。

○小学校施設管理に要する経費（10020301） 58,307,769 円（27,896,801 円） 決算書 P296

〈一財：58,307,769 円〉

(目的)

小学校施設の維持管理を適切に行うことによって、学校教育の円滑な実施を図る。

(内容)

・プール関係薬品、コンピューター関係消耗品等	4,537,435 円
・学校パソコン修繕料等	1,926,049 円
・水質検査、浄化槽検査手数料等	655,340 円
・電気保安業務、警備業務、エレベータ保守等の委託料	27,632,954 円
・電算機器使用料、校地借上料	23,460,984 円
・各学校消火器購入費	95,007 円

(効果)

小学校施設の維持管理が適切に行われ、学校教育を円滑に実施することができた。

○小学校施設整備に要する経費（10020302） 44,652,848 円（27,206,282 円） 決算書 P298

〈その他：14,600,000 円 一財：30,052,848 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・繰入金：公共施設整備基金繰入金 14,600,000 円

(目的)

小学校施設の整備を必要に応じて実施することによって、危険防止及び安全な学校環境の維持を図る。

(内容)

各学校の修繕料	13,841,636 円
各学校の各種検査・申請等手数料	54,000 円
各学校の大規模な工事の設計委託料	12,042,000 円
各学校の工事請負費	18,111,600 円
各学校の体育館等備品購入費	603,612 円

主な修繕料

- | | |
|---------------|--------------|
| ・各小学校体育館雨漏り修繕 | ・各小学校消防用設備修繕 |
| ・小学校体育館照明修繕 | ・各小学校浄化槽修繕 |

主な工事

- | | |
|------------------|--------------------|
| ・逆井山小学校校舍屋上改修工事費 | |
| ・弓馬田小学校スロープ設置等工事 | ・岩井第一小学校西校舍階段室改修工事 |

主な委託

- ・飯島小学校体育館大規模改造耐震補強実施設計
- ・内野山小学校体育館大規模改造耐震補強実施設計業務委託

(効果)

小学校施設整備の実施により、児童の安全な学校環境を維持することができた。

○長須小学校校舎大規模改造事業に要する経費（10020401） 124,910,000 円（新規事業）

決算書 P300

〈地方債：124,900,000 円 一財：10,000 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・地方債：長須小学校校舎大規模改造事業債 124,900,000 円

(目的)

老朽化が著しい校舎を大規模に改修することで、効率的に不具合を解消することができる。また、教室にエアコンを設置することで、教育環境の質的な改善を図る。

(内容)

- ・長須小学校校舎仮設校舎整備工事費（前払金） 5,910,000 円
- ・長須小学校校舎大規模改造工事費（前払金） 119,000,000 円

○岩井第二小学校体育館大規模改造事業に要する経費（10020402） 175,230,000 円（新規事業）

決算書 P300

〈国・県：52,697,000 円 地方債：121,100,000 円 一財：1,433,000 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・国補：学校施設環境改善交付金 52,697,000 円
- ・地方債：岩井第二小学校体育館大規模改造事業債 121,100,000 円

(目的)

施設の耐震化及び大規模改造工事により、児童・教職員の安全確保や、災害時の避難場所として地域住民が利用するため整備を図り施設の機能を確保する。

(内容)

- ・岩井第二小学校体育館大規模改造工事監理業務委託料 4,590,000 円
- ・岩井第二小学校体育館大規模改造工事費 170,640,000 円

(効果)

耐震性が向上し、安全で快適な教育施設の充実が図れた。

○生子菅小学校体育館大規模改造事業に要する経費（10020403） 133,488,000 円（新規事業）

決算書 P300

〈国・県：46,613,000 円 地方債：86,800,000 円 一財：75,000 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・国補：学校施設環境改善交付金 46,613,000 円
- ・地方債：生子菅小学校体育館大規模改造事業債 86,800,000 円

(目的)

施設の耐震化及び大規模改造工事により、児童・教職員の安全確保や、災害時の避難場所として地域住民が利用するため整備を図り施設の機能を確保する。

(内容)

- ・生子菅小学校体育館大規模改造工事監理業務委託料 3,888,000 円
- ・生子菅小学校体育館大規模改造工事費 129,600,000 円

(効果)

耐震性が向上し、安全で快適な教育施設の充実が図れた。

○中学校管理運営に要する経費（10030102） 48,708,315 円（51,422,454 円） 決算書 P300

〈その他：653,522 円 一財：48,054,793 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・負担金：日本スポーツ振興センター保護者負担金 652,280 円
- ・諸収入：中学校校舎外壁タイル改修工事水道使用料 1,242 円

（目的）

学校教育の効率的な運営を推進するために各学校への経費を計上し、生徒の安心した教育環境の整備充実を図る。

（内容）

- ・校医、歯科医、薬剤師、用務員、介助補助講師への報酬等 5,181,200 円
- ・各学校の需用費及び通信費等 26,851,179 円
- ・複写機等リース代 875,098 円
- ・教材備品の購入 2,631,743 円
- ・日本スポーツ振興センター負担金 1,464,745 円
- ・学校管理を目的として各学校へ配当した学校管理費 11,704,350 円

（中学校学校管理費 決算額）

（単位：円）

予算科目	金 額	予算科目	金 額
08 報償費	0	12 役務費	391,550
11 需用費	9,322,657	01 通信運搬費	122,010
01 消耗品費	5,609,691	03 手数料	269,540
02 燃料費	1,839,396	13 委託料	625,400
03 食糧費	111,831	14 使用料及び賃借料	1,089,469
04 印刷製本費	548,195	16 原材料費	275,274
06 修繕料	1,213,544	合 計	11,704,350

（効果）

学校教育の効率的な運営を推進し、教育環境の整備充実を図ることができた。

○中学校教育振興に要する経費（10030201） 5,034,079 円（6,446,505 円） 決算書 P302

〈国・県：274,000 円 その他：2,000,000 円 一財：2,760,079 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・国補：理科教育振興費補助金 274,000 円
- ・繰入金：地域振興基金繰入金 2,000,000 円

（目的）

創意を生かした特色ある学校づくりを通して、生徒の学力向上と健全な心身の育成を目指す。

（内容）

- ・理科教材備品、需用費等 931,000 円
- ・バス借上料 274,320 円
- ・音楽教育交流事業補助金 2,000,000 円
- ・教育振興を目的として各学校へ配当した教育振興費 1,828,759 円

（中学校教育振興費 決算額）

（単位：円）

予算科目	金 額	予算科目	金 額
08 報償費	39,320	12 役務費	10,000
11 需用費	1,393,908	01 通信運搬費	10,000
01 消耗品費	1,393,908	18 備品購入費	385,531
		19 負担金補助及び交付金	0
合 計		1,828,759	

(効果)

生徒の学力向上と健全な心身の育成を目指し、教育振興のための教材の充実により特色ある学校づくりを推進することができた。

○要保護・準要保護生徒就学援助事業に要する経費 (10030202) 16,497,770 円 (15,559,602 円) 決算書 P304

〈国・県：303,260 円 一財：16,194,510 円〉

*** 特定財源積算根拠**

- ・国補：要保護生徒就学援助費補助金 172,000 円
- ・県補：被災児童生徒就学支援等事業補助金 131,260 円

(目的)

経済的な理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

(内容)

対象者 164 名 (内被災者 1 名)

- ・要保護は、修学旅行費の支給及び疾病についての医療費を援助する。
- ・準要保護は、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学生徒学用品費等、修学旅行費、学校給食費及び疾病についての医療費を援助する。

(効果)

保護者に対して必要な援助を行うことにより、経済的な理由によって就学困難な生徒への支援を図ることができた。

○中学校施設管理に要する経費 (10030301) 18,866,182 円 (8,466,456 円) 決算書 P304

〈一財：18,866,182 円〉

(目的)

中学校施設の維持管理を適切に行うことによって、学校教育の円滑な実施を図る。

(内容)

- ・プール関係薬品、コンピューター関係消耗品等 1,519,452 円
- ・学校パソコン等修繕料 199,024 円
- ・簡易専用水道管理検査、浄化槽検査等手数料 132,680 円
- ・電気保安業務、警備等の委託料 10,238,942 円
- ・電算機器使用料等 6,751,082 円
- ・各学校消火器購入費 25,002 円

(効果)

中学校施設の維持管理が適切に行われ、学校教育を円滑に実施することができた。

○中学校施設整備に要する経費 (10030302) 58,108,795 円 (11,463,170 円) 決算書 P306

〈その他：44,300,000 円 一財：13,808,795 円〉

*** 特定財源積算根拠**

- ・繰入金：公共施設整備基金繰入金 44,300,000 円

(目的)

中学校施設の整備を必要に応じて実施することによって、危険防止及び安全な学校環境の維持を図る。

(内容)

- 各学校の修繕料 12,573,619 円
- 各中学校の工事請負費 44,712,000 円

各中学校生徒用机・椅子購入 823,176 円

主な修繕

- ・各中学校消防設備修繕
- ・各中学校浄化槽修繕
- ・各中学校体育館修繕

主な工事

- ・南中学校校舎外壁タイル改修工事
- ・猿島中学校北校舎雨漏り改修工事
- ・東中学校パソコン教室空調設備改修工事

(効果)

中学校施設整備の実施により、生徒の安全な学校環境を維持することができた。

○幼稚園管理運営に要する経費 (10040102) 11,668,587 円 (12,779,872 円) 決算書 P308

〈その他：4,084,770 円 一財：7,583,817 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・使用料：幼稚園保育料 1,515,100 円
- ・負担金：日本スポーツ振興センター保護者負担金 9,870 円
- ・負担金：預かり保育保護者負担金 1,032,800 円
- ・諸収入：幼稚園給食費保護者納付金 1,527,000 円

(目的)

幼稚園教育の効率的な運営と推進をするために、各幼稚園への経費を計上し園児の安心した教育環境の整備充実を図る。情緒障害等のある園児の幼稚園生活の支援をする。

(内容)

- ・園医、歯科医、薬剤師、嘱託職員等への報酬等 6,400,964 円
- ・各幼稚園の需用費及び通信費等 2,072,308 円
- ・給食サービス委託料 2,330,910 円
- ・複写機リース代等 45,646 円
- ・日本スポーツ振興センター負担金等 13,865 円
- ・幼稚園管理を目的として各幼稚園へ配当した幼稚園管理費 804,894 円

(幼稚園管理費 決算額)

(単位：円)

予 算 科 目	金 額	予 算 科 目	金 額
09 旅費	59,596	12 役務費	23,568
11 需用費	504,603	01 通信運搬費	1,968
01 消耗品費	299,725	03 手数料	21,600
02 燃料費	143,317	13 委託料	122,855
03 食糧費	6,000	14 使用料及び賃借料	49,392
04 印刷製本費	19,836	16 原材料費	10,000
06 修繕料	35,725	19 負担金補助及び交付金	34,880
合 計	804,894		

(効果)

幼稚園教育の効率的な運営を推進することができ、教育環境の整備充実を図ることができた。情緒障害等のある園児の幼稚園生活への支援を図ることができた。

○幼稚園就園奨励に要する経費 (10040201) 21,203,740 円 (18,244,540 円) 決算書 P310

[総務部 総務課 所管 46,440 円含む]

〈国・県：6,459,000 円 一財：14,744,740 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・国補：幼稚園就園奨励費補助金 6,459,000 円

(目的)

私立幼稚園に在園する園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

(内容)

- ・私立幼稚園就園奨励費補助金 21,157,300 円

◎私立幼稚園就園奨励金内訳

対象区分	支給額 (円)	人数 (名)
I 市民税非課税世帯	1,888,000	8
II 所得割非課税世帯	421,300	2
III 課税額 77,100 円以下	5,109,100	27
IV 課税額 211,200 円以下	11,890,900	96
V 課税額 211,200 円以上	1,848,000	11

(効果)

保護者の負担軽減により、幼児教育の振興を図ることができた。

○幼稚園施設管理に要する経費 (10040301) 1,260,075 円 (1,372,099 円) 決算書 P310

〈一財：1,260,075 円〉

(目的)

幼稚園施設の維持管理を適切に行うことによって、幼稚園教育の円滑な実施を図る。

(内容)

- ・床用ワックス等消耗品費及び水質検査等手数料 17,400 円
- ・警備業務及び清掃業務等委託料 824,392 円
- ・園地借上料 418,283 円

(効果)

幼稚園施設の維持管理が適切に行われ、幼稚園教育を円滑に実施することができた。

○幼稚園施設整備に要する経費 (10040302) 2,485,080 円 (1,964,520 円) 決算書 P312

〈その他：1,700,000 円 一財：785,080 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,700,000 円

(目的)

幼稚園施設の整備を必要に応じて実施することによって、危険防止及び安全な幼稚園環境の維持を図る。

(内容)

- 各幼稚園の修繕料 703,080 円
- 各園整備工事費等 1,782,000 円

(効果)

幼稚園施設整備の実施により、園児の安全な幼稚園環境を維持することができた。

○学校保健に要する経費 (10060101) 11,034,076 円 (11,414,637 円) 決算書 P346

〈一財：11,034,076 円〉

(目的)

健康管理を行うための各種検診検査を実施することによって、園児・児童・生徒及び教職員の健康づくりを推進し維持増進を図る。

(内容)

・学校医、学校歯科医、学校薬剤師への費用弁償	1,865,000 円
・報償費・需用費	624,994 円
・オージオメーター検査料等	742,111 円
・学校災害賠償補償保険料	318,965 円
・寄生虫、心臓病、尿検査等の委託料	7,006,258 円
・保健室用備品購入	346,908 円
・県学校保健会負担金等	129,840 円

(効果)

各種検診検査を実施することにより、園児・児童・生徒及び教職員の健康保持を図ることができた。

○岩井給食センター運営に要する経費（10060202） 253,133,393 円（265,721,815 円）

決算書 P348

〈国・県：223,000 円 その他：151,008,859 円 一財：101,901,534 円〉

＊特定財源積算根拠

・県補：米飯給食普及拡大事業費補助金	223,000 円
・使用料：行政財産使用料	35,702 円
・諸収入：給食費保護者納付金	149,507,771 円
・諸収入：給食費保護者納付金過年度分	1,444,816 円
・諸収入：給食用スプーンセット売払金	20,570 円

(目的)

栄養バランスに配慮した安全・安心な給食を通し、児童、生徒の心身ともに健全な発達と、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食に対する自己管理能力を養うことに資する。

(内容)

年間給食実施日	199 日		
年間給食数及び人員	小学校	405,646食	2,117人
	中学校	204,576食	1,112人
	職員等	72,046食	372人

(効果)

食材は可能な限り地場産物を使用し、児童・生徒の健康管理と栄養バランスを考慮し、衛生管理に努め一層配慮した給食を提供することができた。また、食育促進事業、学校訪問等を実施することで、学校給食を身近なものとして捉え、食についての興味を持たせることができた。

○猿島給食センター運営に要する経費（10060203） 118,721,639 円（123,038,901 円）

決算書 P352

〈国・県：111,000 円 その他：55,470,720 円 一財：63,139,919 円〉

＊特定財源積算根拠

・県補：米飯給食普及拡大事業費補助金	111,000 円
・諸収入：給食費保護者納付金	55,362,960 円
・諸収入：給食費保護者納付金過年度分	83,660 円
・諸収入：給食用スプーンセット売払金	24,100 円

(目的)

栄養バランスに配慮した安全・安心な給食を通し、児童、生徒の心身ともに健全な発達と、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ食に対する自己管理能力を養うことに資する。

(内容)

年間給食実施日	199 日		
年間給食数及び人員	小学校	135,381食	714人
	中学校	80,737食	426人
	職員等	27,703食	144人

(効果)

食材は可能な限り地場産物を使用し、児童・生徒の健康管理と栄養バランスを考慮し、衛生管理に努め一層配慮した給食を提供することができた。また、家庭教育学級等に学校訪問し、食育指導等を行い会食することで、学校給食を身近なものとして捉え、食についての興味を持たせることができた。

(課題)

経年劣化による施設や調理機器の修繕が増加しており、計画的な修繕や機器の更新が必要。

[教育委員会 生涯学習課 所管]

○社会教育推進に要する経費（10050102） 2,239,913 円（2,376,041 円） 決算書 P312

〈一財：2,239,913 円〉

(目的)

市民の多様化・高度化する学習活動やニーズに対応するため、各団体及び各機関と連携を図り生涯学習活動の促進を図る。

(内容)

・各種講座の開設

講 座 名	学習回数	参加者数
ばんどうっ子クラブ	12 回	41 名
B S カレッジ (ばんどうシニアカレッジ)	前期 5 回	45 名
	後期 5 回	45 名
サイエンス教室	4 回	27 名

・作品展

開催期間：平成 28 年 11 月 18 日～20 日 会場：猿島体育館、猿島公民館

入場者数：6,400 名（延べ） 出品数：1,854 点

・花いっぱい花壇コンクール

参加団体数：22 団体（11 団体・11 小中学校）

・成人フェスティバル

開催日：平成 29 年 1 月 8 日 対象者数：539 名

・中学生学校外ボランティア

活動回数：22 回 登録者数：中学生 62 名

・活動団体補助金

(効果)

各種の講座・事業を通して、多数かつ幅広い年齢層の市民一人一人の生涯学習への意欲を高めることができた。

○伝統芸能育成に要する経費（10050103） 2,270,554 円（624,315 円） 決算書 P314

〈その他：1,600,000 円 一財：670,554 円〉

＊特定財源積算根拠

・繰入金：地域振興基金繰入金 1,600,000 円

(目的)

坂東市の文化発展・振興のため、日本最古の芸能「能楽」を市民に紹介し、身近に触れ親しむことにより、能楽の世界を通じて伝統芸能の育成および文化意識の高揚を図る。また、第2回伝統芸能祭を開催することで、伝統文化の伝統文化の伝承を地域活性化のための文化意識の向上を図る。

(内容)

- ・能楽教室 実施回数 40 回、参加人数 13 人
- ・伝統芸能祭

開催日：平成 28 年 12 月 4 日 参加団体 13 団体

(効果)

能楽を身近な伝統芸能として楽しみながら、異年齢交流と、地域文化向上を図ることができた。また、伝統芸能を広く周知することができた。

○社会教育主事に要する経費（10050104） 9,317,463 円（8,870,972 円） 決算書 P316

〈一財：9,317,463 円〉

(目的)

より広範な住民の学習活動を視野に入れて、社会教育活動に対する指導・助言に加え、様々な場所で行われている社会教育関連事業に協力していくこと、また、学習活動全般に関する企画・コーディネートといった役割が期待され、市民の生涯学習の充実を図る。

(内容)

- ・教育委員会が主催する社会教育事業の企画・立案・実施
- ・社会教育施設が主催する事業に対する指導・助言
- ・社会教育関係団体の活動に対する助言・指導
- ・学力向上における家庭学習定着のための助言

(効果)

新たな社会教育事業のコーディネートを行い、市民の学習活動を推進することができた。また、家庭教育学級での講話などを通し、家庭教育の充実を図ることができた。

○訪問型家庭教育支援事業に要する経費（10050105） 828,145 円（新規事業） 決算書 P316

〈国・県：823,825 円 一財：4,320 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・県委：訪問型家庭教育支援事業委託金 823,825 円

(目的)

家族形態の変化や経済的問題、地域社会における地縁的なつながりの希薄化等により、様々な問題を抱え込み主体的な家庭教育が困難になっている家庭に、訪問型支援を中心とした幅広い支援を行い、家庭や子どもを地域で支える取り組みを推進する。

(内容)

- ・訪問型家庭教育支援推進協議会の設置し、学校や関係団体等との連携・協力の推進。
- ・家庭教育支援チームを設置し、家庭や学校等を訪問して、相談対応や家庭教育に関する情報や学習機会の提供。

(効果)

孤立し、相談することができずにいる保護者の気持ちを支えることで、不登校の解消を図ることができた。

○青少年育成に要する経費（10050201） 2,197,392 円（2,285,626 円） 決算書 P316

〈国・県：31,000 円 一財：2,166,392 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・ 県委：県事務処理特例交付金 31,000 円

(目的)

次代を担う青少年の健全育成及び自主性や社会参加意識の醸成を図る青少年活動の場の提供とその促進のため、関係諸機関や団体、地域社会が一体となり、環境づくりを推進する。

(内容)

- ・ 子ども会活動、高校生会活動、青少年育成市町村民会議活動
- ・ 青少年団体助成（ボーイスカウト、ガールスカウト）

(効果)

各青少年育成団体等の活動を助成・支援し、連携を図り、安全な環境づくりに努め、地域社会における青少年の健全育成の環境づくりを推進することができた。

○青少年センターに要する経費（10050202） 3,140,378 円（3,061,664 円） 決算書 P318

〈その他：19,670 円 一財：3,120,708 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・ 諸収入：青少年相談員店舗訪問業務補助金 19,670 円

(目的)

次代を担う青少年の健全育成のために、地域に密着した「青少年センター」を設置し、青少年関係団体との連携を図りながら青少年の健全育成に取り組む。また、急激な社会環境の変化や、高度情報化の進展により様々な問題が発生している状況にあり、そうした問題を未然・早期に防止するために相談・指導活動の充実を図る。

(内容)

- ・ 青少年相談
- ・ 青少年の指導（パトロール）
- ・ 各種イベントにおける健全育成啓発活動

(効果)

青少年の健全な育成及び非行の防止に関し、関係機関、団体と緊密な連携を保ち、効果的に活動を推進することができた。

○放課後子ども教室に要する経費（10050203） 13,317,187 円（10,338,403 円） 決算書 P318

〈国・県：3,772,000 円 その他：1,718,000 円 一財：7,827,187 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・ 県補：放課後子ども教室推進事業補助金 3,772,000 円
- ・ 負担金：放課後子ども教室保護者負担金 1,718,000 円

(目的)

放課後等に、小学生を対象として、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちの勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、次代を担う子どもたちの健全育成を支援する。

(内容)

キッズクラブ

- ・ 実施校：七郷小学校、七重小学校、逆井山小学校、沓掛小学校
- ・ 実施日：各校週 1 回
- ・ 登録者数：小学 1～6 年 七郷小学校 29 名、七重小学校 57 名、
逆井山小学校 15 名、沓掛小学校 27 名
- ・ 指導者数：主任指導員 4 名、指導員 23 名

宿題塾

- ・実施校：岩井第一小学校、岩井第二小学校
- ・実施日：週 5 日、月～金（祝日、県民の日、学年末・年始休業日、夏季休業日のうち 8 月 13 日から 8 月 16 日、冬季休業日のうち 12 月 28 日から 1 月 4 日までを除く）
- ・実施場所：坂東市岩井 4638 番地 坂東宿題塾
- ・登録者数：小学 4 年～6 年 岩井第一小学校 43 名 岩井第二小学校 22 名
- ・指導員数：主任指導員 1 名、指導員 13 名

（効果）

子供たちは守られた環境の中で、各種の活動に積極的に参加し、活発にのびのびと学習することができ、健全育成を支援することができた。

○七五三祝鑑賞会に要する経費（10050204） 604,680 円（609,922 円） 決算書 P320

〈一財：604,680 円〉

（目的）

子どもたちの健全な成長を願い市全体として祝福し、観劇等を通して次代を担う子どもたちに夢と感動を与え、心の教育を目的とする。

（内容）

開催日：平成 28 年 10 月 13 日 会場：ベルフォーレ 対象者数：408 名（市内在住 5 歳児）
「14 ひきのひっこしだ」（劇団ポポロ）

（効果）

幼少期の子どもたちに劇場の大ホールでの芸術鑑賞の機会を与え、観劇のマナーと情操教育を推進することができた。

○わんぱく探検隊に要する経費（10050205） 654,311 円（734,898 円） 決算書 P320

〈その他：204,578 円 一財：449,733 円〉

* 特定財源積算根拠

- ・諸収入：わんぱく探検隊個人負担金 204,578 円

（目的）

市内の青少年が、大自然の中で相互の交流と協力をしながら、専門家の指導のもとに自給的な生活を工夫し野営生活を行い、自然の中で生き抜く体験をとおして、たくましい心身を育成する。

（内容）

実施期間：平成 28 年 8 月 6 日～9 日（3 泊 4 日）
参加者数：39 名（小学 4 年～中学 3 年、協力者、指導者）

（効果）

大自然の中で野外生活を体験し、共同生活を協力しながら行うことによって、異年齢間の交流を促進するとともに、困難に立ち向かう勇気や忍耐力、自主性、協調性を養い、たくましく生きる力を育むことができた。

○文化財保護に要する経費（10050301） 750,102 円（557,550 円） 決算書 P322

〈一財：750,102 円〉

（目的）

有形及び無形文化財を保護・保存し、それらを通して郷土の歴史、民俗、伝統文化を伝承していくとともに広く周知することにより、市民の文化的な生活の充実向上に役立てることを目的とする。

(内容)

- ・指定文化財修理事業（市指定天然記念物延命院かやの木、市指定天然記念物歓喜寺江戸彼岸桜）
- ・無形民俗文化財保存団体補助金

(効果)

文化財の修理修復事業及び団体への助成等により、有形・無形文化財の保護・保存に努め、市民の文化意識の高揚に役立てることができた。

○埋蔵文化財調査に要する経費（10050302） 603,966 円（423,462 円） 決算書 P322

〈一財：603,966 円〉

(目的)

地域の歴史と文化に根ざした歴史的遺産である埋蔵文化財を保護するために試掘・確認調査を行う。

(内容)

遺跡試掘調査

- ・民間宅地開発等に伴う試掘調査

(効果)

民間宅地開発等に伴う試掘・確認調査を行い歴史的遺産である埋蔵文化財を保護した。

○小中学生英語研修に要する経費（10050401） 3,485,991 円（1,980,292 円） 決算書 P324

〈その他：3,485,000 円 一財：991 円〉

*特定財源積算根拠

- ・繰入金：国際交流基金繰入金 2,825,000 円
- ・諸収入：中学生海外研修個人負担金 630,000 円
- ・諸収入：中学生海外研修引率者負担金 30,000 円

(目的)

宿泊研修を通し英語力を高め国際社会に通じる人材の育成を図るとともに、研修終了後も自ら英語学習に研鑽を積み、周囲の英語学習に対する興味関心を高めさせ全体の学習意欲を向上させることを目的とする。

(内容)

国内英語研修施設『ブリティッシュ・ヒルズ』において宿泊研修を行い、レッスンや施設見学を通し、異文化体験や英会話を学習した。

実施期間：平成 28 年 8 月 27 日～30 日（4 日間）

参加者：小学 6 年生 11 名 中学 1.2.3 年生 31 名 引率者：6 名

(効果)

国際交流・異文化体験の機会を提供し、中学生の国際的な感覚を養った。

○岩井公民館運営に要する経費（10050501） 28,288,417 円（31,332,276 円） 決算書 P324

〈その他：1,675,297 円 一財：26,613,120 円〉

*特定財源積算根拠

- ・使用料：行政財産使用料 1,258,617 円
- ・使用料：公民館使用料 161,875 円
- ・諸収入：光熱水費使用料 159,570 円
- ・諸収入：電気使用料受入金 92,125 円
- ・諸収入：公衆電話使用料 3,110 円

(目的)

市民の多様化する学習意欲に対応するため、岩井公民館施設の整備と利用の促進を図る。

(内容)

- ・需用費 12,141,457 円
消耗品費 540,915 円、燃料費 2,506,251 円、食糧費 12,824 円、光熱水費 8,556,919 円、修繕料 524,548 円
- ・役務費 528,094 円
通信運搬費 302,374 円、手数料 36,720 円、保険料 189,000 円
- ・委託料 14,825,520 円 (単位：円)

委 託 名	委託料	内 容
公民館清掃業務委託料	2,365,200	日常清掃・定期清掃年 4 回・窓ガラス・カーペット・換気扇清掃
自動ドア保守点検委託料	64,800	年 2 回
放送設備保守点検委託料	216,000	年 2 回
花壇管理委託料	349,920	年 2 回
特殊建築物定期報告調査委託料	939,600	隔年
市公共施設管理公社委託料	10,890,000	窓口業務および施設管理

- ・使用料及び賃借料 401,360 円
- ・備品購入費 391,986 円

(効果)

岩井公民館施設の整備と利用促進に寄与した。

○岩井公民館活動に要する経費 (10050502) 1,660,871 円 (1,693,019 円) 決算書 P326

〈一財：1,660,871 円〉

(目的)

市民の多様化する学習意欲に対応した各種の公民館講座を開設するとともに、岩井公民館まつりを支援し、生涯学習活動を促進する。

(内容)

- ・報償費 1,081,000 円
定期学習講座 18 講座 252 名、単発・後期学習講座 5 講座 97 名
- ・旅費 5,120 円
- ・需用費 509,339 円
消耗品費 149,867 円、食糧費 43,896 円、印刷製本費 315,576 円
- ・役務費 41,212 円
通信運搬費 20,800 円、手数料 20,412 円
- ・使用料及び賃借料 16,200 円
- ・負担金補助及び交付金 8,000 円

(効果)

各種講座を通して、市民の学習・交流活動の機会を提供することができた。

また、岩井公民館利用促進に寄与した。

- ・第 30 回岩井公民館まつり 平成 28 年 7 月 1 日(金)、2 日(土)、3 日(日)実施
参加人員 約 2,000 名

○猿島公民館運営に要する経費 (10050503) 10,613,733 円 (10,861,206 円) 決算書 P326

〈その他：187,160 円 一財：10,426,573 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・使用料：行政財産使用料 24,000 円
- ・使用料：公民館使用料 158,400 円
- ・諸収入：電子コピー複写サービス料 4,760 円

(目的)

公民館維持管理に支出する経費。施設内外の環境を整え、快適に利用できるようにする。

(内容)

- ・賃金 1,616,280 円
- ・需用費 5,364,831 円
- 消耗品費 367,799 円、燃料費 65,490 円、食糧費 9,720 円、光熱水費 4,503,590 円、修繕料 418,232 円
- ・役務費 21,000 円
- ・委託料 3,005,163 円 (単位：円)

委 託 名	委 託 料	内 容
特殊建築物定期報告調査委託料	469,800	隔年に実施
複写機保守点検委託料	99,272	複写機保守点検委託
庭木等管理委託料	491,400	庭木等管理
公民館屋上点検業務委託料	32,400	年 1 回
公民館管理委託料	1,815,091	休日管理 101 日、夜間管理 204 日
車いす用リフト保守点検委託料	97,200	年 1 回

- ・使用料及び賃借料 402,879 円
- ・備品購入費 203,580 円

(効果)

公民館の施設内外の環境を整え、利用する方々が快適な活動運営が出来るように維持管理に努め、多数かつ幅広い年齢層の市民の利用が見られた。

○猿島公民館活動に要する経費(10050504) 1,363,373 円(1,244,497 円) 決算書 P328

〈一財：1,363,373 円〉

(目的)

市民の要望を的確に捉え、効果的な事業を計画し、学習・交流活動・発表の機会を提供。心豊かで生き生きとしたまちづくりを図る。

(内容)

- ・報償費 988,000 円
- 定期学習講座 18 講座 238 名、単発・後期学習講座 12 講座 268 名
- ・需用費 136,519 円
- 消耗品費 109,926 円、食糧費 18,770 円、印刷製本費 7,823 円
- ・役務費 207,824 円
- 通信運搬費 10,400 円、手数料 8,424 円、保険料 189,000 円
- ・使用料及び賃借料 31,030 円

(効果)

各種講座を通して、市民の学習・交流活動の機会を提供することができた。

また、猿島公民館利用促進に寄与した。

- ・第 11 回さしま公民館まつり 平成 29 年 2 月 24 日(金)、25 日(土)、26 日(日)実施
参加人員 約 2,500 名

○分館運営に要する経費(10050505) 11,872,015 円(10,695,050 円) 決算書 P328

〈その他：130,878 円 一財：11,741,137 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・使用料：行政財産使用料 71,900 円
- ・使用料：神大実分館使用料 850 円
- ・諸収入：電子コピー複写サービス料 10,200 円
- ・諸収入：電気売払収入 47,928 円

（目的）

市民の多様化する学習意欲に対応するため、神大実分館施設の整備と利用の促進を図る。

（内容）

①神大実分館施設の整備と利用の促進

②環境整備

- ・報酬 6,008,833 円
- ・需用費 2,472,681 円
 消耗品費 213,839 円、燃料費 589,492 円、食糧費 6,480 円、印刷製本費 2,894 円、
 光熱水費 933,676 円、修繕料 726,300 円
- ・役務費 418,675 円
 通信運搬費 221,675 円、手数料 8,000 円、保険料 189,000 円
- ・委託料 2,708,478 円 (単位：円)

委 託 名	委託料	内 容
神大実分館施設管理業務委託料	1,897,085	窓口業務および施設管理
自動ドア保守点検委託料	64,800	年 2 回
分館清掃業務委託料	375,840	定期清掃年 6 回、窓ガラス
分館警備業務委託料	311,040	25,920 円×12 月
除草庭木管理委託料	36,028	
複写機保守点検委託料	23,685	@ ¥3.6×枚数

- ・使用料及び賃借料 234,188 円
- ・備品購入費 29,160 円

（効果）

神大実分館の施設整備と利用促進に寄与した。

○分館活動に要する経費（10050506） 3,056,600 円（2,364,200 円） 決算書 P330

〈一財：3,056,600 円〉

（目的）

市民の多様化する学習意欲に対応した各種の公民館講座を開設し、また、地域づくりのために活動している分館に対し助成等を行う。

（内容）

- ・報償費 1,001,000 円
 定期学習講座 16 講座 243 名、単発学習講座 8 講座 381 名
- ・役務費 15,600 円
 通信運搬費 15,600 円
- ・負担金補助及び交付金 2,040,000 円（分館活動推進協議会補助金）

（効果）

神大実分館の公民館講座を開設し、多様化・高度化するニーズに対する地域主体の学習環境づくりに寄与した。また、分館の活動を支援することにより、地域づくりに寄与することができた。

○コミュニティセンター運営に要する経費（10050601） 5,134,472 円（8,176,672 円）

決算書 P332

〈その他：199,760 円 一財：4,934,712 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・使用料：行政財産使用料 120,000 円
- ・諸収入：電気使用料受入金 79,300 円
- ・諸収入：公衆電話使用料 460 円

（目的）

市の文化体育の普及振興及び市民の福祉の増進を図り、潤い及び活力のある人間性豊かなまちづくりに寄与するため、既存施設の積極的な活用を図るとともに、施設の整備や備品の充実を図る。また、センターの環境整備に努める。

（内容）

- ①コミュニティセンター施設の整備と利用の促進
- ②各コミュニティセンターの環境整備
- ③地域づくりのためのコミュニティセンター活動を支援する。

- ・需用費 2,615,092 円
消耗品費 86,979 円、燃料費 140,813 円、光熱水費 1,889,182 円、修繕料 498,118 円
- ・役務費 242,146 円
通信運搬費 216,146 円、手数料 26,000 円
- ・委託料 1,165,294 円

（単位：円）

委 託 名	委託料	内 容
昇降機設備保守点検委託料	689,472	新町コミセン
清掃業務委託料	184,680	
自動ドア保守点検委託料	32,400	蓮打コミセン
除草庭木管理委託料	258,742	

- ・使用料及び賃借料 1,111,940 円

（効果）

各コミュニティセンターの施設整備と利用増進に寄与し、活動を支援した。

○逆井城跡公園管理に要する経費（10050701） 7,475,663 円（8,768,147 円） 決算書 P332

〈その他：32,061 円 一財：7,443,602 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・諸収入：光熱費使用料 32,061 円

（目的）

市民の憩いの場である城跡公園の環境美化を図り、利用者が快適で安全に利用できるよう維持管理をする。

（内容）

- ・需用費 2,138,000 円
消耗品費 61,133 円、燃料費 72,123 円、
光熱水費 614,283 円、修繕料 1,390,461 円
- ・役務費 73,426 円
通信運搬費 73,426 円
- ・委託料 5,105,037 円

（単位：円）

委 託 名	委託料	内 容
施設管理業務	4,607,697	庭園内樹木刈込、樹木消毒・剪定、トイレ清掃 除草作業、開閉業務、公園内外の巡回警備等

警備業務	220,320	機械警備
樹木伐採	123,660	樹木伐採
トラクター保守点検	56,160	トラクター保守点検
遊具点検	97,200	遊具点検

- ・原材料費 109,200 円（砕石購入、苗木購入）
- ・備品購入費 50,000 円（刈払機購入費）

（効果）

城跡公園に花木等の植栽を行い環境美化及び安全維持管理に努めた。

（課題）

公園利用者数の増加を目指す。

〔教育委員会 国体・五輪・スポーツ振興課 所管〕

○学校体育振興に要する経費（10060301） 14,975,277 円（14,019,407 円） 決算書 P354

〈その他：28 円 一財：14,975,249 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・諸収入：中学校部活強化支援事業補助金預金利子 15 円
- ・諸収入：高等学校運動部活動強化支援事業補助金預金利子 13 円

（目的）

小中学校体育連盟の活動に対し、負担金及び補助金を交付することによりその活動を活発にし、生涯スポーツの動機付けを行う。

（内容）

小中学校体育連盟において、各種競技の市長杯大会や市中学校総合体育大会の開催及び県西・県大会への参加助成や市内小学校の陸上記録会を開催した。また、関東大会以上の大会に参加した学校に補助金を交付した。さらに運動部活動を強化、支援するために補助金を交付した。

（効果）

小中学生の競技力向上と競技人口の増大、生涯スポーツへの動機付けに効果があった。

○社会体育振興に要する経費（10060302） 33,425,644 円（28,613,087 円） 決算書 P356

〈その他：12,650,000 円 一財：20,775,644 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・繰入金：地域振興基金繰入金 12,650,000 円

（目的）

市民の健康増進・維持に役立つ、誰もが手軽に始められるスポーツの普及啓発や日頃の練習成果を発揮するスポーツ大会を開催する。また、健康増進と体力の向上、スポーツを通じて地域住民が親睦を深めるためにマラソン大会、体育祭の開催やスポーツ教室を開催することにより将来継続して実施できる程度の技術の向上と競技人口の増大を図りつつ、生涯にわたって健康で充実した生活を送れるようにする。

（内容）

- ・生涯スポーツ推進員、スポーツ推進委員の設置
- ・各種近隣大会の開催及びスポーツ教室の実施
- ・体育協会、スポーツ少年団への活動補助
- ・第 26 回坂東市いわい将門ハーフマラソン大会参加状況（H28）

部 門	申込者数	当日受付け者数	完走者数	完走率
ハーフ一般	3,231 人	2,832 人	2,669 人	94.2%

10km一般	1,065人	949人	887人	93.4%
5km一般	578人	537人	497人	92.5%
5km中学生	531人	525人	422人	80.3%
3km小学生	269人	258人	248人	96.1%
1.1km車いす	3人	2人	2人	100.0%
1.2km親子ペア	642人	626人	608人	97.1%
合 計	6,319人	5,729人	5,333人	93.0%

・スポーツ教室

参加状況 9教室 265名

・猿島地域体育祭

参加者数 競技係員 246名

選手数 2,880名

成 績

	優 勝	準優勝	第3位
行政区対抗総合の部	沼の田行政区	前山行政区	川端行政区

(効果)

レクリエーション大会やスポーツ大会を実施し、市民の体力づくりや健康増進に寄与した。
また、マラソン大会の実施により、全国各地から参加者を得て市民と参加者との交流や坂東市のPRに貢献した。

○屋内体育施設運営に要する経費(10060401) 504,594,199円(17,389,118円) 決算書P360

〈国・県 51,316,000円 地方債：345,300,000円 その他：87,696,773円

一財：20,281,426円〉

＊特定財源積算根拠

- ・国補：社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成事業）37,600,000円
- ・県補：国民体育大会市町村競技施設整備費補助金 13,716,000円
- ・地方債：総合体育館大規模改修事業債 345,300,000円
- ・使用料：行政財産使用料 34,935円
- ・使用料：体育館使用料 418,350円
- ・使用料：武道館使用料 166,400円
- ・諸収入：スポーツ振興くじ（t o t o）助成金 87,077,000円
- ・諸収入：公衆電話手数料 88円

(目的)

雨天時でも使用できる屋内体育施設（総合体育館、猿島体育館、猿島武道館）を安全に気持ちよく使用できるよう整備し、市民の体力維持増進に役立てる。

(内容)

- ・需用費 4,818,578円（光熱水費2,328,919円、修繕料1,907,535円、その他582,124円）
- ・役務費 307,301円
- ・委託料 19,327,210円 (単位：円)

委 託 名	委 託 料	内 容
清掃業務委託	1,606,576	総合体育館・猿島体育館 日常清掃及び定期清掃
樹木管理委託	440,431	猿島体育館等 周辺樹木管理
体育施設管理委託	1,901,923	猿島体育館等 体育施設管理

市公共施設管理公社委託	2,185,000	総合体育館等 体育施設管理
猿島体育館空調設備保守点検委託	103,680	猿島体育館 空調設備保守点検 年2回
総合体育館大規模改修工事監理業務委託料	13,068,000	総合体育館大規模改修工事監理業務委託
猿島体育館消火栓ホース耐圧試験委託料	21,600	猿島体育館消火栓ホース耐圧試験委託

- ・使用料及び賃借料 372,738 円
- ・工事請負費 467,592,372 円 (単位：円)

工事名	工事請負費
猿島体育館バスケットゴール改修工事	1,123,200
総合体育館大規模改修工事	466,452,000
電話移設等工事	17,172

- ・備品購入費 12,176,000 円

(効果)

体育館・武道館の施設環境を整え、利用者が快適に安全に利用できるよう維持管理に努め、生涯スポーツの普及に寄与した。

○屋外体育施設運営に要する経費 (10060402) 38,276,411 円 (31,062,738 円) 決算書 P362

〈その他：4,448,900 円 一財：33,827,511 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・使用料：行政財産使用料 240,000 円
- ・使用料：野球場使用料 678,700 円
- ・使用料：テニスコート使用料 2,495,900 円
- ・使用料：運動公園使用料 89,100 円
- ・使用料：緑のスポーツ広場使用料 684,900 円
- ・使用料：グラウンドゴルフ場使用料 260,300 円

(目的)

屋外体育施設（運動公園、野球場、テニスコート、緑のスポーツ広場、グラウンドゴルフ場）を安全に気持ちよく使用できるよう整備し、市民の体力維持増進に役立てる。

(内容)

- ・需用費 9,230,326 円 (光熱水費 6,021,004 円、修繕料 2,981,536 円、その他 227,786 円)
- ・役務費 64,393 円
- ・委託料 12,470,643 円 (単位：円)

委 託 名	委 託 料	内 容
放送設備保守点検委託	177,120	岩井球場 放送設備保守点検 年2回
清掃業務委託	676,080	岩井球場・猿島球場 日常及び定期床・窓清掃
樹木管理委託	4,129,695	猿島球場・生子運動公園 沓掛球場・内野山運動公園 芝・除草等
夜間照明施設保守点検委託	153,900	猿島球場 夜間照明施設保守点検
グラウンドゴルフ場管理委託料	961,848	グラウンドゴルフ場

		管理委託
(仮称)神田山運動公園地質調査委託料	6,372,000	(仮称)神田山運動公園 地質調査委託

- ・使用料及び賃借料 4,861,869 円
- ・工事請負費 11,287,080 円 (単位：円)

工事名	工事請負費
岩井球場内野整備工事	2,268,000
猿島球場内野整備工事	1,058,400
グラウンドゴルフ場整備工事	7,960,680

- ・原材料費 78,200 円
- ・備品購入費 283,900 円

(効果)

屋外体育施設の施設環境を整え、利用者が快適に安全に利用できるよう維持管理に努め、生涯スポーツの普及に寄与した。

[教育委員会 指導課 所管]

○教育指導充実に要する経費 (10010302) 70,250,079 円 (77,469,572 円) 決算書 P286

[教育委員会 学校教育課 所管 11,830,684 円含む]

〈国・県：4,024,380 円 その他：1,500,000 円 一財：64,725,699 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・国委：魅力ある学校づくり調査研究事業委託金 623,200 円
- ・県補：原子力・エネルギー教育支援事業補助金 1,947,650 円
- ・県補：理科教育設備整備費等補助金 495,000 円
- ・県委：学びの広場サポートプラン事業委託金 646,600 円
- ・県委：スクールライフサポーター配置事業委託金 311,930 円
- ・繰入金：地域振興基金繰入金 1,500,000 円

① 教科書関連事業 25,504,431 円 (33,919,995 円)

(目的)

- ・小・中学校の児童生徒の教育指導に必要な教科書並びに指導書を整え、教育の充実に資するとともに、多様化する指導環境に対応することを目的とする。

(内容)

- ・主な事業経費は、おおむね4年に一度の教科書採択替えによる教師用教科書及び指導書等の購入で、教科指導の充実に資する。平成28年度は、市内小・中学校に教師用教科書及び指導書を購入した。

(効果)

- ・教師用教科書は、児童生徒と同じものを使い、教科指導上の効果があがった。
- ・指導書に記載されている、それぞれの分野における様々な解説や用語集、ワークシート等を活用することで、教科の学習をより深く児童生徒に理解させることができた。
- ・指導書を活用することで、授業中の児童生徒への学習支援を、より効果的に進めることもできた。
- ・教師が教科書、指導書を有効に活用し、児童生徒一人一人にあった個に応じた学習を進め、確かな学力を身につけさせることができた。

② 魅力ある学校づくり調査研究事業委託金 623,200 円 (949,000 円)

(目的)

- ・不登校やいじめ等の未然防止につながる小・中連携及び小・小連携の効果的な取組をとoshi

て、豊かな人間関係づくり、学習指導の充実など、児童生徒にとって魅力ある学校づくりを推進する。

(内容)

- ・児童生徒の実態を把握するために、全生徒及び高学年の全児童を対象に毎学期1回意識調査を実施する。
- ・豊かな人間関係づくりを育成するため、スクールコミュニケーション研修、小中合同あいさつ運動等を実施する。
- ・取組成果をリーフレットにまとめ、研究会にて発表する。

(効果)

- ・「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」と自信をもって答える児童生徒の割合が増加し、自己有用感を高めることができた。

③ 原子力・エネルギー教育支援事業 1,947,650 円 (1,128,000 円)

(目的)

- ・教材・教具等の活用によって、生徒の原子力及びエネルギーに関する基礎知識を普及させることを目的とする。

(内容)

- ・再生エネルギー実験セット等を活用してのエネルギーについての学習

(効果)

- ・各種実験セットの教材・教具を活用することによって、新エネルギーに対する生徒の理解を深めることができた。

④ 学びの広場サポートプラン事業 646,600 円 (588,400 円)

(目的)

- ・小学校4・5年生を対象として、算数の内容を系統的にまとめた学習教材を使用し、補充的な学習の場を充実することにより四則計算等の知識・技能の定着を図ることを目的とする。
- ・中学校1・2年生を対象として、基礎的・基本的な知識・技能等に関する問題からなる学習教材等を活用し一人ひとりの基礎学力の定着を図ることを目的とする。

(内容)

- ・各小学校第4・5学年の各学級に「学びの広場サポーター」を一人ずつ派遣して、教員と共に児童の学習を支援する。学習内容は、小学校第1学年から該当学年1学期までの計算問題等で、県作成の学習教材を活用して行う。
- ・サポーター派遣の希望のあった中学校に対して、1・2年生の学級に「学びの広場サポーター」を一人ずつ派遣し、教員と共に生徒の学習を支援する。学習内容は、県が作成した基礎的・基本的な知識・技能等に関する問題からなる学習教材を活用する。

(効果)

- ・個別指導が充実し、自分のつまずきに気付いたり、既習内容を思い出したりしながら、少しずつステップアップすることができた。
- ・苦手な問題を繰り返し解くことによって、正答率が上がり、計算力の向上が見られた。
- ・サポーターの生徒に対する積極的な関わりにより、課題に意欲的に取り組むようになった。また、課題を解決していく中で、課題の達成感や今後の向上心につなげることができた。

⑤ 学力向上推進事業委託料 20,000,000 円 (20,000,000 円)

(目的)

- ・学力向上のために、アセスメントを基盤とした施策の実施を通して児童生徒の学力向上を図る。

(内容)

- ・総合学力調査・意識調査の結果を基に学力に関する実態を把握し、課題解決に向けた施策を実施する。

- ・小学6年生と中学1年生を対象としたサマースクールを実施する。
- ・デジタル教材やプリント教材を活用して個に応じた指導を実施する。

(効果)

- ・小学校では、総合学力調査の第1回目の結果と第2回目の結果を比較すると、2回目の方が全国の平均正答率を上回っている教科や学年が増えた。また、第2回目で全国の平均正答率を下回っている学年や教科でも、多くの教科・学年で1回目よりも全国平均正答率との差を縮めることができた。
- ・中学校では中学2、3年生において、多くの教科で1回目よりも全国平均正答率との差を縮めることができた。

○外国語指導助手配置に要する経費（10010306） 46,720,800 円 (24,999,998 円) 決算書 P290
 〈一財：46,720,800 円〉

(目的)

- ・小学校における外国語活動の充実に努めるとともに、外国語活動に対する興味・関心を高め外国人との交流を通してコミュニケーションの素地づくりの推進を図る。
- ・中学校における英語教育の充実に努めるとともに、実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。
- ・小中学校の児童生徒の外国語活動や英語教育に際し、英語を母国語とする外国人が授業に参加することにより、国際理解教育や人権教育の充実に図ることを目的とする。

(内容)

- ・小学校13校に対し9名配置する。
 - ア 学習指導要領に基づく、学習指導案、授業等作成時の情報提供、企画提案、環境整備の援助をする。
 - イ 小学校における外国語活動で、歌や、チャンツ、ゲームなど、英語の楽しさが味わえるような活動をする。
 - ウ 学校の主催する秋祭り、運動会、卒業式等へ参加する。
 - エ 授業の反省、分析、評価への参加及び、学習指導に関する情報提供をする。
 - オ 小学校教職員に対する研修を行う。
- ・中学校4校に対し4名を配置する。
 - ア 学習指導要領に基づく年間指導計画、学習指導案、授業等作成時の情報提供、企画提案をする。
 - イ 中学校における英語の授業のウォーミングアップ、導入、ドリル、日本人教師とのインタラクションなどを工夫して行う。
 - ウ 中学校における英語教育で使用する教材研究と教材作成及び教材の提供をする。
 - エ 学校の主催する文化祭、体育祭、卒業式等へ参加する。
 - オ 授業の反省、分析、評価への参加及び、学習指導に関する情報提供をする。
 - カ インタラクティブフォーラム、スピーチコンテスト参加生徒の練習を補助する。
 - キ 中学校教職員に対する研修を行う。
 - ク 幼稚園、認定こども園へ訪問し、園児とのふれあいを行う。

(効果)

- ・ネイティブの発音に触れることができ、コミュニケーション能力の育成が図れている。
- ・小学生から、ALTと自然にコミュニケーションを図ることができるため、中学校英語教育との接続が図れている。
- ・外国人と接することにより、自分と異なる文化や考えを尊重する心が育ち、国際理解教育の充実に図れている。
- ・県インタラクティブフォーラムへ1人出場し、入賞している。

○学校図書館支援センター推進事業に要する経費（10010307） 4,116,000 円（4,113,000 円）

決算書 P290

〈一財：4,116,000 円〉

（目的）

- ・学校図書館をよりよく機能させ、豊かな読書活動や学校図書館を活用した学習活動の推進を図る。

（内容）

- ・指導課内に学校図書館支援センターを設置する。
- ・各校に1名、学校図書館協力員を配置する。
 - ア 学校図書館担当教諭の指導のもと、学校図書の整備や学校図書館環境の充実を図る。
 - イ 読み聞かせや図書紹介など、学校図書館を活用した学習活動への協力を行う。
- ・支援スタッフによる巡回指導を行う。
 - ア 学校図書館支援センター事務局との連携のもと、各校の学校図書館担当教諭、協力員への指導助言を行う。

（効果）

- ・全ての小・中学校に学校図書館協力員を配置するとともに、協力員をサポートする巡回指導員として支援スタッフを派遣することで、学校図書館をよりよく機能させ、豊かな読書活動や学校図書館を活用した学習活動の推進を図ることができた。

○T T 特別配置事業に要する経費（10010309） 12,279,505 円（8,296,718 円） 決算書 P292

〈一財：12,279,505 円〉

（目的）

- ・県及び国の加配措置のない小中学校、並びに複式学級のある学校に対して、T T 非常勤講師を派遣することで、個に応じた学習指導の充実を図ることを目的とする。

（内容）

- ・加配措置のない小規模校（弓馬田小、飯島小、七郷小、長須小）並びに複式学級のある学校（内野山小）に対し、T T 非常勤講師を派遣する。

（効果）

- ・該当校において、児童一人一人にきめ細かな学習指導を実施することができた。

〔教育委員会 市民音楽ホール 所管〕

○市民音楽ホール運営に要する経費（10050901） 167,386,368 円（61,041,127 円） 決算書 P338

〈その他：115,502,427 円 一財：51,883,941 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・使用料：音楽ホール使用料 6,297,417 円
- ・繰入金：公共施設整備基金繰入金 100,300,000 円
- ・繰入金：地域振興基金繰入金 8,900,000 円
- ・諸収入：電子コピー複写サービス料 5,010 円

（目的）

本市における芸術・文化活動の拠点として、優れた音響を誇る音楽ホールで、施設の長所を生かした個性ある事業の展開を図るために、施設内外の環境を整え、来館者に安全と快適さを提供し、市民の文化意識の高揚と、心豊かな市民生活に寄与する。

（内容）

- ・音楽ホール利用可能日数 304 日 使用日数 241 日 稼働率 79%
- ・報酬 3,000,000 円

- ・需用費 17,173,807 円
 消耗品費 701,256 円、燃料費 1,388,154 円、食糧費 3,670 円、
 印刷製本費 30,240 円、光熱水費 12,146,329 円、修繕料 2,904,158 円
- ・役務費 1,150,839 円
- ・委託料 25,573,567 円 (単位：円)

委 託 名	委 託 料	内 容
清掃業務委託	6,957,182	日常清掃(毎日)・定期清掃(年8回)
施設設備管理業務委託	6,804,000	施設管理(年12回)
市公共施設管理公社委託	1,630,000	芝・樹木の管理(年間)
舞台保守管理業務委託	2,899,800	吊物(年4回) 音響(年2回) 照明設備の保守(年1回)
自動ドア・エレベーター 保守管理業務委託	943,920	自動ドア(年4回) エレベーター(年12回)
ピアノ保守管理業務委託	462,672	ピアノ5台(年1回)
施設広報作成業務委託	1,069,200	「森からの手紙」(年4回) 全戸配布
施設監視カメラシステム 保守管理業務委託	274,320	監視カメラ・モニター機器(年2回)
雑草除去委託	421,200	山林の除草、下草と古木伐採(年1回)
樹木管理委託料	270,000	駐車場しだれ桜剪定
施設管理システム保守点検委託	42,651	施設管理システム保守(年12回)
複写機保守点検委託	25,102	複写機保守(年12回)
特殊建物定期報告調査委託	911,520	特殊建物定期報告調査
空調設備改修工事管理委託	2,862,000	ホール空調設備改修管理

- ・使用料及び賃借料 3,060,071 円
 電算機器使用料 451,428 円
 土地借上料(3件分) 2,095,679 円
 放送受信料 37,980 円
 リースマット使用料 469,800 円
 複写機使用料 5,184 円
- ・工事請負費 108,272,916 円
 舞台機構設備交換工事 11,016,000 円
 空調設備改修工事 89,370,000 円
 屋根防水工事 7,452,000 円
 防犯カメラ設置工事 434,916 円
- ・備品購入費 140,000 円
- ・負担金補助及び交付金 8,988,118 円
 (1) 公立文化施設協議会負担金 43,000 円
 (2) 文化振興事業団補助金 8,945,118 円
 文化芸術事業等を実施し、市民文化の向上及び振興を図るとともに、豊かな市民文化の創造に寄与することを目的に年14本の自主事業に取り組んだ。

(効果)

市民の芸術文化活動の拠点として、様々なジャンルの催し物を実施し好評を得ている。市民の多様な活動の場にも安全・安心な施設として利用され、市民文化の高揚が図れた。

[教育委員会 図書館 所管]

○岩井図書館運営に要する経費（10050802） 12,468,105 円（11,149,189 円） 決算書 P334

〈その他：25,910 円 一財：12,442,195 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・諸収入：電子コピー複写サービス料 11,310 円
- ・諸収入：図書館利用カード再発行手数料 14,600 円

(目的)

生涯学習の拠点としての機能を充実し、市民の多種多様な学習活動や知的要求、文化的要望に
 応えるため、資料の整備充実に努め、自由で公平な資料提供を中心とする図書館活動と市内
 小中学校等との連携により、教育・文化の振興を図る。

(内容)

◎利用状況

(1) 貸出数及びサービス件数

	開館 日数	貸出 点数	貸出 者数	予約 点数	レファレンス サービス	複写 枚数	WEB 貸出 延長	WEB 予約 点数
4 月	25	11,025	2,896	123	190	48	209	228
5 月	24	12,858	3,148	124	220	173	221	259
6 月	25	12,076	3,120	210	212	88	188	224
7 月	26	14,098	4,136	227	291	67	241	230
8 月	25	18,190	4,586	210	349	221	224	260
9 月	17	9,106	2,336	134	174	30	139	211
10 月	25	10,880	2,960	168	212	84	204	157
11 月	23	9,851	2,585	143	189	68	191	199
12 月	22	11,490	2,660	172	189	48	251	209
1 月	22	12,029	2,727	163	175	56	265	202
2 月	23	9,872	2,714	108	152	143	223	212
3 月	26	10,341	2,928	157	202	105	234	222
合計	283	141,816	36,796	1,939	2,555	1,131	2,590	2,613
1 日平均		501	130	7	9		7	7

◎図書館の催し物

(1) おはなし会

- ・毎週土曜日開催（幼児・児童対象） 49回 486人参加
- ・毎週水曜日開催（乳幼児・保護者対象） 44回 239人参加
- (2) かがくあそび（幼児・児童対象） 1回 28人参加
- (3) 絵本の世界を楽しむ会（幼児・児童対象） 2回 22人参加
- (4) おりがみ会（幼児・児童対象） 4回 39人参加
- (5) 夏休み宿題お助け講座（児童対象） 3回 51人参加
- (6) 図書館探検隊（児童対象） 1回 20人参加
- (7) 人形劇（幼児・児童対象） 1回 68人参加
- (8) 朗読おはなしの森（一般対象） 1回 90人参加
- (9) おひろめBOOKS（一般対象） 10回 延40人参加
- (10) ブックスタート（猿島図書館共同事業） 12回 362人参加
- (11) 出張おはなし会（保育所・幼稚園・小学校・中学校対象） 18箇所
- (12) 出張ブックトーク（小学校・中学校対象） 3回

- (13) 職場体験・インターンシップ・職場実習受入 7校
 (14) 図書館来館・見学（小学校・一般団体） 8件

（効果）

コンピュータシステムを活用した図書館サービスや様々な催し物の開催、学校等との連携により、市民の読書環境意欲の向上につながった。また、ブックスタート事業により、乳児期からの読書の楽しさや絵本を介しての親子のふれあいを認識してもらい、乳幼児の健全な育成を支援することができた。

一方、インターネット上で予約や貸出延長を利用者自身ができるようになり、利便性の向上が図れた。

○岩井図書館資料に要する経費（10050803） 7,066,723 円（7,112,412 円） 決算書 P336

〈一財：7,066,723 円〉

（目的）

市民からの多種多様な生涯学習や文化的要望に応え、かつ学校教育を援助できるように、社会の動向や個々のニーズに即した様々な媒体の図書館資料を収集・整理・提供し、市民の文化の向上に資する。

（内容）

図書館資料購入点数及び蔵書点数

（単位：点）

	購入点数	蔵書点数
図書資料（一般・児童・紙芝居）	2,994	130,834
視聴覚資料 DVD	41	1,078
〃 ビデオ	0	1,309
〃 CD	53	5,613
〃 カセットテープ	0	927
計	3,088	139,761

雑誌 66 誌
 新聞 9 紙

（効果）

幅広い分野の資料を様々な媒体で収集するとともに、市民の要求に応じた資料を収集することで情報の提供が図れた。

○猿島図書館運営に要する経費（10050804） 2,794,867 円（3,036,009 円） 決算書 P336

〈その他：305,300 円 一財：2,489,567 円〉

***特定財源積算根拠**

- ・繰入金：地域振興基金繰入金 300,000 円
- ・諸収入：図書館利用カード再発行手数料 5,300 円

（目的）

生涯学習の拠点としての機能を充実し、市民の多種多様な学習活動や知的要求、文化的要望に応えるため、資料の整備充実に努め、自由で公平な資料提供を中心とする図書館活動と市内小中学校等との連携により、教育・文化の振興を図る。

（内容）

◎利用状況

(1) 貸出数及びサービス件数

	開館日数	貸出点数	貸出者数	予約点数	レファレンスサービス	複写枚数
4 月	26	6,447	1,484	79	49	62
5 月	25	4,628	1,464	39	54	71

6月	19	4,543	1,202	57	37	42
7月	27	6,604	2,168	95	74	97
8月	25	7,950	2,381	79	66	109
9月	25	6,166	1,838	81	33	134
10月	26	5,219	1,623	74	35	98
11月	24	5,001	1,522	53	37	135
12月	23	5,356	1,384	48	35	90
1月	23	5,814	1,360	83	38	48
2月	24	4,741	1,487	71	32	45
3月	27	4,623	1,497	55	34	27
合計	294	67,092	19,410	814	524	958
1日平均		228	66	3	2	3

◎図書館の催し物

(1) おはなし会

・毎週土曜日開催（幼児・児童対象）	44回	219人参加
・毎週木曜日開催（乳幼児対象）	35回	111人参加
・特別企画	4回	261人参加
・こわ〜いこわ〜いおはなし会	6回	28人参加

(2) 映画会

・名作映画会	4回	891人参加
・こどもミニシアター	11回	80人参加

(3) ファミリーコンサート

190人参加

(4) 押し花しおり講座

2回 140人参加

(5) 出張おはなし会（保育所・幼稚園・小学校・中学校対象）

5件

(6) 来館おはなし会

1件

(7) 職場体験・実習受入

3件

(8) 図書館来館・見学（小学校・一般団体）

5件

◎ミューズまつり（猿島図書館・猿島資料館）2月25（土）、26日（日）

ブックリサイクル・名作映画会・ファミリーコンサート・坂東市名産品コーナー・押し花体験コーナー等、猿島図書館・猿島資料館合同のイベントを行った。

(効果)

各種催し物の開催を通じて、市民が読書や文化活動に関心をもつ機会を提供し、図書館利用へとつなげることができた。また、一般市民や中学生のボランティアと共に催し物などを行うことで、図書館活動に対しての理解を深めた。さらに学校との連携を強化することで団体貸出など読書環境の向上につながった。

○猿島図書館資料に要する経費（10050805） 5,996,248円（6,037,274円） 決算書 P338

〈一財：5,996,248円〉

(目的)

市民からの多種多様な生涯学習や文化的要望に応え、かつ学校教育を援助できるように、社会の動向や個々のニーズに即した様々な媒体の図書館資料を収集・整理・提供し、市民の文化の向上に資する。

(内容)

図書館資料購入点数及び蔵書点数

（単位：点）

	購入点数	蔵書点数
図書資料（一般・児童・紙芝居）	2,982	104,582

視聴覚資料	DVD	33	845
〃	ビデオ	0	3,198
〃	CD	36	3,779
	計	3,051	112,404

雑誌購入 95 誌

新聞購入 10 紙

(効果)

利用者が求める図書資料の提供が図れた。基本的図書に重点をおいて購入し、資料の重複購入がないよう各図書館の特徴を生かしながら資料整備をすすめることができた。また、資料館の企画と合わせた資料を収集・提供するなど、坂東郷土館ミュージズとして利用者へのサービスの相乗効果を得ることができた。

[教育委員会 猿島資料館 所管]

○さしま郷土館ミュージズ管理に要する経費 (10051001) 16,581,508 円 (15,233,773 円)

決算書 P342

〈その他：151,160 円 一財：16,430,348 円〉

* 特定財源積算根拠

- ・使用料：郷土館使用料 36,300 円
- ・使用料：行政財産使用料 97,100 円
- ・諸収入：電子コピー複写サービス料 9,580 円
- ・諸収入：公衆電話使用料 8,180 円

(目的)

利用者に対し安全で快適な環境を提供し、より一層の利用促進を図る。

(内容)

資料館と図書館を併せたミュージズ全体の施設維持管理費

- ・需用費 9,203,338 円
- ・役務費 49,761 円
- ・委託料 6,413,553 円

(単位：円)

委 託 名	委託料	内 容
天体望遠鏡保守点検委託	302,400	本体・光学系統の定期検査調整
天体観測ドーム清掃委託	212,933	駆動部清掃点検・調整等
清掃業務委託	2,046,956	日常清掃、前庭・池清掃等
自動ドア保守点検	181,440	定期点検調整
樹木等管理委託	507,600	剪定、草刈り、薬剤散布
エレベーター保守点検委託	959,040	点検調整、遠隔監視
特定建築物環境衛生管理委託	298,080	空気環境測定、害虫駆除
空調等自動制御装置保守点検委託	648,000	中央監視自動制御機器点検調整
複写機保守点検委託	82,604	
池ろ過装置保守点検委託	64,800	
特殊建築物定期報告調査委託	1,080,000	
樹木伐採委託	29,700	

- ・使用料及び賃借料 914,856 円

(単位：円)

リースマット等使用料	371,496	マット・モップ、消臭機器
複写機使用料	4,095	

防犯カメラシステム使用料	518,400	
印刷機使用料	20,865	

(効果)

施設・設備の適正な管理に努めることによって、利用者の安全性、快適性が確保できた。

○資料館運営に要する経費（10051002） 8,326,952 円（5,321,361 円） 決算書 P344

〈その他：6,766,000 円 一財：1,560,952 円〉

＊特定財源積算根拠

- ・繰入金：岩井地域ふるさと創生事業基金繰入金 2,866,000 円
- ・繰入金：地域振興基金繰入金 3,900,000 円

(目的)

郷土の歴史や文化、芸術作品に触れる機会を提供するなど、身近に文化的環境を用意することで、住民の文化意識の向上を図り、郷土への理解と関心を高める。

(内容)

◇企画展示

- (1) 企画展「坂東市が生んだ二人の音楽家 作曲家・吉原規とハーモニカの名手・間中勘」
平成 28 年 3 月 19 日(土) ～ 6 月 26 日(日)

戦前戦後のラジオ放送に関わった作曲家・吉原規と日本を代表するハーモニカ奏者・間中勘。坂東市出身の音楽家の歩みと活躍を紹介した。

- (2) 企画展「筆墨を友として 書家・横島青江遺作展」

平成 28 年 7 月 9 日(土) ～ 8 月 31 日(水)

平成 27 年に亡くなった書家・横島青江氏の書作品を展示し、書道家としての歩みを紹介した。

- (3) 企画展「初公開！坂東市本将門記 - 将門伝説と古代東国の争乱 - 」

平成 28 年 10 月 8 日(土) ～ 12 月 25 日(日)

坂東市が新たに作成した平成版の「将門記」を公開し、併せて郷土の英雄・平将門の伝説と史実をさまざまな資料を通して紹介した。

- (4) 特別展「孤高の画人 肅祭寶作品展」

平成 29 年 2 月 25 日(土) ～ 5 月 28 日(日)

花鳥風月や人物画などを題材に、おおらかで文人画調の独自の作品を残した画家・肅祭寶の作品を展示した。

◇ロビー展示

- (1) 「写真で見る懐かしきふるさとの風景」

平成 28 年 4 月 9 日(土) ～ 6 月 26 日(日)

地域の風景や街並み、伝統行事を写した古写真を展示し、今は失われたふるさとの風景を紹介した。(会期中、一部展示替えを行った)

- (2) 「地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展」

平成 28 年 7 月 9 日(土) ～ 9 月 4 日(日)

「地球の声」をテーマに描かれた「地球環境世界児童画コンテスト」優秀作品から各国の子どもたちの絵を展示した。

- (3) 「宇宙展 ～太陽系惑星から深宇宙まで～」

平成 28 年 7 月 9 日(土) ～ 9 月 4 日(日)

太陽系の惑星や月の満ち欠けについての解説や、流星・銀河などのパネルを展示した。

◇所蔵美術品展示

平成 28 年 6 月 4 日(土)～6 月 26 日(日)「小川芋銭・奥原晴湖・猪瀬東寧作品を中心に」
二世五姓田芳柳をはじめ横山大観、下村観山、木村武山などの郷土ゆかりの作家の日

本画・洋画・版画・陶磁器などの作品を展示した。

◇展示室・ギャラリーの貸出

- (1) 茨城県移動展覧会 茨城の美術セレクション 9月4日(日)～9月11日(日)
(茨城県生活文化課主催)
- (2) 書道日新会書展 9月13日(火)～9月19日(月)
- (3) 先生たちの美術展 平成29年1月9日(月)～2月5日(日)

◇所蔵資料の貸出等

- (1) 有限会社地人館 「よくわかるコメの事典 第3巻 米づくりの歴史」掲載
画像データ1点(飯沼新田航空写真)貸出し
- (2) 株式会社テレビ朝日 「グッド! モーニング」
5月20日 7時20分～40分放送
図版スライド1点(歌川国貞「平親王将門」)貸出し
- (3) 株式会社アフロ 「社会テストA 4年生 茨城県版」掲載
画像データ1点(飯沼新田航空写真)貸出し
- (4) 宗教法人 生長の家 「あや絵の軌跡 川崎是空展」
5月10日～9月30日 川崎是空「平親王将門之勇姿」貸出し
- (5) 株式会社ネクサス テレビ東京「開運! なんでも鑑定団」
6月7日 20時54分～21時54分
画像データ6点(二世五姓田芳柳「富士秋景」、「羅漢図」、「山田長政南方進展之図」、「八幡公凱旋(勿来関)」、パノラマ制作風景、二世五姓田芳柳の肖像)貸出し
- (6) 株式会社光文書院 「社会テスト(茨城県版)4年」掲載
画像データ1点(西仁連川開削工事(昭和16年))貸出し
- (7) 株式会社東阪企画 BS日テレ番組「ぶらぶら美術・博物館」
画像データ1点(二世五姓田芳柳の肖像)貸出し
- (8) BS朝日番組「歴史ミステリー日本の城見聞録 最後の戦国武将 北条氏の要塞」
歴史番組の録画収録で逆井城跡の歴史や城郭としての価値を解説
- (9) さいたま文学館 企画展「平将門 -文学は史実を越えて-」
10月1日～11月27日 将門関連 錦絵15点、版本5点、書籍3点、
稲葉嶽男氏調査資料(埼玉関係)1点、写真パネル6点
- (10) 株式会社ホールマン テレビ東京「世界なぜそこに?日本人」
画像データ2点(昭和30年代の市街地写真)貸出し
- (11) 交通防災課 坂東市防災訓練
10月1日 防災展示 飯沼耕地水害写真パネル20点 貸出し
- (12) 図書館ボランティアグループ・ぶんぶんくらぶ 出張おはなし会
大型紙芝居上演の参考資料 飯沼耕地水害等の写真パネル4点 貸出し
- (13) 商工振興課 ゆめぷらざ坂東(市民ギャラリー) 展示「ふるさとの原風景」
画像データ35点(猿島地域の古写真)と解説文データ貸出し
- (14) 産経新聞 宇都宮支局 新聞連載「坂東武士の系譜」
将門錦絵画像データ5点貸出(新聞紙上掲載)
- (15) 小美玉市玉里史料館 参考展「おみたま神社探訪」
2月25日～4月16日 後藤縫殿之助彫刻写真画像 展示貸出
- (16) 常陽藝文センター 『常陽藝文』4月号特集「茨城異能力士列伝」
企画展「郷土を沸かせた力士たち セツ海 若浪」展示図録 参考資料に提供

◇天体観望

- (1) 天体講座 8回実施 250名参加
- (2) 太陽観望 28回実施 538名参加

◇ミューズまつり 平成29年2月25日(土)、26日(日)

猿島資料館・猿島図書館合同のイベントを実施した。

(効果)

展覧会の開催等を通して、市民が優れた芸術文化に親しむ機会を創出することができた。

郷土の歴史や文化を紹介することで、市民が郷土に対する理解を深め、また、天体観望を通して天文・宇宙への興味・関心を高めることができた。